

第十五回柳川川柳学校報告書

日時…平成三十年二月五日（月）午後六時～八時

教室…茶房 リエール

出席…秋政・伊藤・井上・井口・太田・久米田・小谷・妹尾・高谷・南部・

松田・横田・若槻／菅田・辻川・吉原

平成三十年初めての「柳川川柳学校」が厳寒の中で開催されました。

今回は、出席者十六名（内聴講生一名）という学校創立以来最多の人数が集まり、寒さも吹っ飛ばす熱い授業が行われました。

乾杯の音頭は、前回最優秀作品賞受賞の妹尾さんです。



乾杯！！

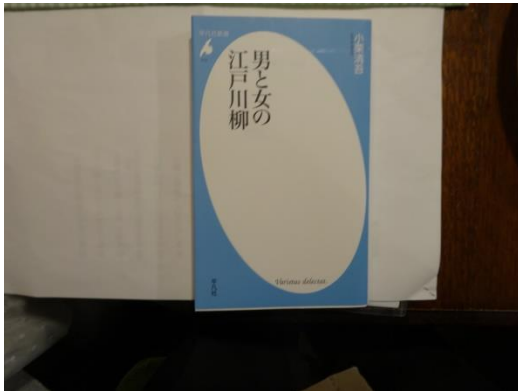
山陰放送OBの額^{ぬか}さんより、地元の鯖寿司の差し入れもありました。ごちそうさまでした。また、額さんも川柳を作られるそうです。関西民放クラブ「騒の会」同様、将来的に山陰支部との川柳交流が持てればと思います。



自画自賛中



美味しい食事を前に採点中



男と女の江戸川柳



黙って採点中

いつもながらのヘルシーな食事とお酒。今宵は焼酎のお湯割りがよく飲まれるようです。
そして、投句採点の後は「自画自賛コーナー」最も熱いコーナーです。暖房もあまり効かない「まるで冷蔵庫の中にいる」ような寒さをも忘れる熱気です。
菅田校長による「四句八句」は前回に続き江戸川柳、今回はよりダイレクトな「男と女の江戸川柳」の紹介です。一同領きながら、大いに勉強になりました。また創作意欲も更にかきたてられました。

採点の結果は次の通りです。
校長賞は、今回が初投句の南部さん。優秀作品は、小谷・横田・伊藤さんでしたが、自由句・課題句ともに優秀作品に選ばれた伊藤さんが優秀作品賞を受賞されました。そして、最優秀作品賞は松田さんが受賞されました。詳細は後述の通りです。お楽しみいただければと思います。



会は、辻川補佐の中締めで終了いたしました。
次回は、桜の季節・四月二日（月）です。皆様のご参加をお待ちしています。

報告く吉原

自由句

- ① 信じたい信じられないライバルは
- ② 願い事山の神には排除され
- ③ 未婚率高き世の中老い盛り
- ④ 生きている証におくる年賀状く優秀作品
- ⑤ **へそくりを使い切れずにあの世行きく最優秀作品賞**
- ⑥ 一句出ぬ四苦八苦してまた駄作
- ⑦ 出藍の誉れ目指せど色変わり
- ⑧ 負け犬の身なれど今も遠吠えす
- ⑨ 写真整理恋した人も終活箱
- ⑩ 日記帳文字が一月まだ読める
- ⑪ **その歳で「出世払い」てよう言うわ！く優秀作品賞**
- ⑫ 光もの妻は胸元わしや頭
- ⑬ **孫来ると聞いて慌てて髭を剃るく校長賞**
- ⑭ 初夢は三途の川で立ち泳ぎ
- ⑮ 正月や享年ひとつ増えただけ

課題句く青

- ① 青瓦台主が代われれば御破算か
- ② 恋模様きのうはピンク今日ブルー
- ③ 百歳の前では古希もまだ青いく優秀作品
- ④ デイケアで熱き青春とりもどし
- ⑤ 老いの身は青息吐息虫の息
- ⑥ 青二才の頃より今がひどいかも
- ⑦ しらとりの嘆きに想う青哀し
- ⑧ 閉め歌は「青い山脈」傘寿会
- ⑨ 青春の蹉さてつ跌もありて喜寿迎え
- ⑩ 青い空それでも憂鬱月曜日
- ⑪ **あの頃は恋と気づかず青かったく優秀作品賞**
- ⑫ 赤信号気づかず通過青くなり
- ⑬ 青信号 慌みぞれて滑って 囊食う
- ⑭ 青と白オボーの布に馬からみ
- ⑮ 老いぼれて青息吐息終活す

(完)